

平成29年度 英語科研修会 報告書

1. 目標 「グローバル人材育成のための英語教育プログラム」
2. 日時 平成30年1月30日(火) 13:00～
3. 会場 常葉大学 静岡キャンパス 水落校舎 2階 203・204教室
〒420-8588 静岡市葵区水落町1番30号
4. 参加者 41名(私立中・高等学校39名、県立高校2名)
5. 開会式 13:15～13:25
挨拶 英語科専門部会 部会長 谷野純夫先生(常葉大学附属常葉中学・高等学校校長)

6. 内容

【研修Ⅰ】所管事項「これからの県の英語教育」

静岡県総合教育センター 総合支援部 高等学校支援課
教育主幹 平川由紀子先生

<生徒の未来を切り開く英語教育を目指して>

①私たちの取り組みとして心掛けていきたいこと

- ・文部科学省から数か月ごとに新たな発表があるため、随時確認をする
- ・CAN-DO リストを活用する
- ・スピーキング・ライティングの指導と評価を充実させる
(スピーキング・ライティングを重視しすぎて、リーディング・リスニングを軽視しないようにする)
- ・4技能を十分に活用した授業づくりが大切である

②スピーキング・ライティング

- ・スピーキングで重要なことは、タスクの達成である。また、正確さよりも流暢さの方が重要度が高い。(タスクの達成→先生の質問に答えられるかどうかをみる。単語のみでの解答でもよい。自分をきちんと述べ、理由が2つ必要である。)
- ・ライティングはリスニングより正確さを重視する必要がある。また、構成についても十分に考えなければならない。
- ・流暢さ、一貫性、語彙、文法などを中心に指導、評価する必要がある。

③CAN-DO リスト

- ・見直しのポイントとして、CEFR の設定が現在の学校の生徒のレベルに合っているか、言語活動を具体的に記入する際にタスクの内容と CEFR があっているか、などがある。また、生徒の英語力、教科書の難易度、タスクの難易度を見直すべきである。

④進路指導担当へのお願い

- ・資格・検定試験を受験できる体制と環境づくりが出来ているか見直す必要がある。また、部活の大会や学校行事と被った場合、どのように対応するか進路指導担当者と十分に話し合う必要がある。

⑤授業改善への提案

- ・学習指導案では、CAN-DO リストや年間指導計画の内容を記述し、ゴールアクティビティを達成するためにはどのようなスモールタスクを行えばよいのかを考える。
- ・活用技能の記入欄には、4技能のうち主な技能を2つ書く。インプットとアウトプットの組み合わせで毎時間考えていくことが必要である。
- ・本時の指導では先生中心の授業ではなく、生徒同士で活動させることも必要とされるため、本時の指導に形態の枠が導入された。
- ・言語の枠は、場合によっては日本語を使わなければならない場面もあるため、組み込まれている。
- ・主発問は本時のゴールになり得る質問である。この際に、模範解答やおおむね満足できるという解答も予想しておく。

⑤英語教育実施状況調査報告

- ・生徒の英語力が卒業するときに準2級以上を取得している生徒または相当の英語力を有すると思われる生徒の割合は、英検受験者も増えたこともあり、文部科学省によると50%程度となっている。
- ・言語活動とは4技能全てを含んでいる。ペアワークやグループワークのことではない。勘違いしている人が多いため、注意する。
- ・パフォーマンステストの状況としては、スピーキング・ライティング共に学期ごと1回程度実施している学校が多い。
- ・英語による発話の割合として、教員の発話が50%以上の学校は3分の2程度となっている。

【研修Ⅱ】講話「ドクタージョンソンと18世紀のスコットランド」

常葉大学 学長 江藤秀一先生（筑波大学名誉教授）

①ドクタージョンソンの紹介

- ・サミュエル・ジョンソン

→イギリス中西部、バーミンガムの近くのリッチフィールド生まれで、様々な語の定義づけをした。（アクティブラーニングとして、生徒にやらせてもよい）現在のオックスフォード辞典の源となっている。ジェイムズ・ボズウェルのお陰でジョンソンが知られるように

なった。

※ジェイムズ・ボズウェル：有名な伝記作家で『ジョンソン伝』を記した。エディンバラ生まれの弁護士である。

②スコットランドについて

- ・ローランドとハイランド

→ローランドは町並みが整っており、世界遺産も数多くある。ハイランドはほぼ山から成っている地域である。ハイランドではゲール語が使われていたが、学校で英語を習わせ、無理やり英語化させられている。

- ・ジャコバイトの乱

※名誉革命で王位を追われたスチュアート家を支持する人たちをジャコバイトという。

- ・カロデンの戦い→チャールズ側の死者は2千人ほどになる。逆に政府軍は2,300人程度。

- ・氏族制崩壊政策により、裁判権を奪い、武器携帯及び使用の禁止などが行われた。

- ・ハイランド・クリアランス

→住民を村から追い出し海辺で生活させ、その代わりにその村で羊を飼わせた。その結果、20年間で1500人いた住民が200人にまで減ってしまった。

③英語の教員として必要なこと

- ・言葉の感覚を磨く
- ・英語圏の歴史や文化に人々の知恵を学ぶ